









(単位mm)

- 注意事項

 メンテナンスのため、エアフィルター・高性能フィルター・
 ロスナイエレメント取出側、加湿エレメント取出側には点検
 □ (□ 450 または□ 600) を必ず設けてください。
- 室外側ダクト2本(外気及び排気ダクト)には、結露防止のための断熱処理を実施してください。
 寒冷地・外風の強い場所では運転停止時に室外の空気
- (高温高湿、冷気等)が侵入することがありますので、電動ダンパーとの併用をおすすめします。
- 給水は市水または上水を使用し、給水管系には必ずサー ビス弁・排水弁を設けてください。
- に入井・併水井を取りて八ととい。 加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。加湿エレメントの交換の目安は、供給水質が市水・上水で、硬度 70 以下:4シーズン(5000 時間)、硬度 100:3シーズン 以下・4.49ースノ(5000 時間)、恢復 100.39ースノ (3750 時間)です。 交換目安は保証期間を示しているも のではありませんのでご注意ください。 供給水の硬度、イオ ン状シリカ、酸消費量が多い場合や、給水配管中にサビ ンハンリカ、既消買量が多い場合で、結み配管中にりと が含まれている場合、加湿エレメントの劣化が早まり、加 湿能力の低下、変色、白粉発生などがあらわれることがあ ります。加湿シーズン終了後は乾燥運転してください。詳 細は商品の取扱説明書等でご確認くださ
- 公共の水道管に直接接続することもできます。((公社)
- 日本水道協会品質認証センター登録済) 水道管に直接接続する場合、シスターンタンクを使用する 場合、いずれの場合も給水圧力は0.05MPa~0.49MPa になるように、給水量は350cc/分以上それぞれ確保し てください。
- ◆ 給水配管、排水配管はメンテナンスの妨げにならないよう に設置してください。
- る水配管工事後、本体に接続する前に必ず通水し、配管内の洗浄をしてください。 ドレン配管は必ず実施し、必ず防露工事を施してください。
- ドレン配管の途中に水が溜まらないよう勾配 (1/100 以上)をつけてください。また、ドレン配管には、トラップ、通気管、排水口から 1/100 勾配の中で横引きでの合流 を設けないでください。

- 本体が長手方向は水平、短手方向は水平もしくはドレン 排出口が下になるよう (1°以内) にしてください。
 ドレン配管の途中にドレンポンプ (ドレンアップメカ) を接続
- してドレン排水を処理しないでください。 ドレン配管を集合配管とする場合、集合配管につながる
- 他商品の運転の影響で排水が戻らないようにドレン排出 口に付属のドレンホースを接続し、ドレン排出口より低い 位置(約10cm)から配管を行ってください。
- 集合配管につながる他商品の影響により配管内部の圧 カが上昇し、排水されにくくなる場合があります。配管内 の圧力が上がらないようにご注意ください。
- 排水が逆流するおそれがありますので、ドレン配管の途中 で内径を縮小しないでください。

 加湿部分が 0℃以下になる場合は、凍結防止のため、
- 必ず電動ダンパーもしくは、凍結防止ヒーターを設置してく ださい。
- 霧・もやが発生する地域では 755 ページのご注意事項を
- ご参照ください。 深形フードをご使用の場合、深形フード(壁) から本体までのダクト長さも 1m 以上(15 ~ 65 タイプ)、2.5m 以上(80, 100 タイプ) 設けてください。

- (80, 100 タイン) 設けてください。 ベントキャップ、 丸形ファドは南水が直接かかる場所では ご使用にならないでください。 給水温度は、5℃~40℃としてください。 メタケト(OA、EA) 方向変更時は据付工事説明書を参照 してください。
- 給気側屋外フード近くに照明がある等で虫が集まりやすい 環境にある場合は、虫の侵入対策として別売のフィルター 付給気グリルまたは虫侵入防止ユニットの取付けをお願い します。
- 加湿運転時は加湿効果により給気温度が下がるため
- の緊急停止信号は使用できません。